

注) 件数をみると、「5 件以下」では、「必ず確認している」が 18.8%、「確認する時としない時がある」が 15.2%、「確認していない」が 65.0%、「6～10 件」では、「必ず確認している」が 20.7%、「確認する時としない時がある」が 20.7%、「確認していない」が 57.5%、「11 件以上」では、「必ず確認している」が 23.7%、「確認する時としない時がある」が 16.9%、「確認していない」が 57.6%となっており、「必ず確認している」では、件数が多くなるほど、割合が高くなる傾向がうかがえる。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合をみると、「50%以下」では、「必ず確認している」が 29.4%、「確認する時としない時がある」が 14.7%、「確認していない」が 52.9%、「51%～99%」では、「必ず確認している」が 16.2%、「確認する時としない時がある」が 23.0%、「確認していない」が 60.7%、「100%」では、「必ず確認している」が 20.4%、「確認する時としない時がある」が 13.5%、「確認していない」が 64.6%となっており、「50%以下」では、「必ず確認している」が 29.4%と最も高く、最も低いのが「51%～99%」の 16.2%となっている（図 13）。

5. 医院から海外の歯科技工所へ歯科補綴物を発注する場合、「補綴物管理票」等の帳票の使用の有無について

医院から海外の歯科技工所へ歯科補綴物を発注する場合、「補綴物管理票」等の帳票の使用状況について全体でみると、「使用している」が 11.6%、「使用していない」が 21.8%、「海外へは発注していない」が 61.0%となっ

ている。

医院長の年齢別にみると、「30～39 歳」では、「使用している」が 0.0%、「使用していない」が 21.6%、「海外へは発注していない」が 73.0%、「40～49 歳」では、「使用している」が 6.1%、「使用していない」が 26.1%、「海外へは発注していない」が 61.7%、「50～59 歳」では、「使用している」が 14.4%、「使用していない」が 21.8%、「海外へは発注していない」が 59.1%、「60～69 歳」では、「使用している」が 14.7%、「使用していない」が 20.2%、「海外へは発注していない」が 58.7%、「70 歳以上」では、「使用している」が 13.0%、「使用していない」が 8.7%、「海外へは発注していない」が 69.6%となっており、「海外へは発注していない」が最も高いのが「30 歳代」の 73.0%、次いで「70 歳代」の 69.6%となっている。次に、「補綴物管理票」に関しては、「30 歳代」では全く使用されていない。

1日あたりの来院患者数別でみると、「20人以下」では、「使用している」が 10.8%、「使用していない」が 19.5%、「海外へは発注していない」が 66.2%、「21～30人」では、「使用している」が 13.1%、「使用していない」が 26.9%、「海外へは発注していない」が 53.8%、「31人以上」では、「使用している」が 11.4%、「使用していない」が 20.0%、「海外へは発注していない」が 61.6%となっており、「海外へは発注していない」が最も高いのが「20人以下」の 66.2%、次いで「31人以上」の 61.6%となっている。次に、「補綴物管理票」に関しては、「使用している」を「来院患者数別」にみても大きな差異はみられない。

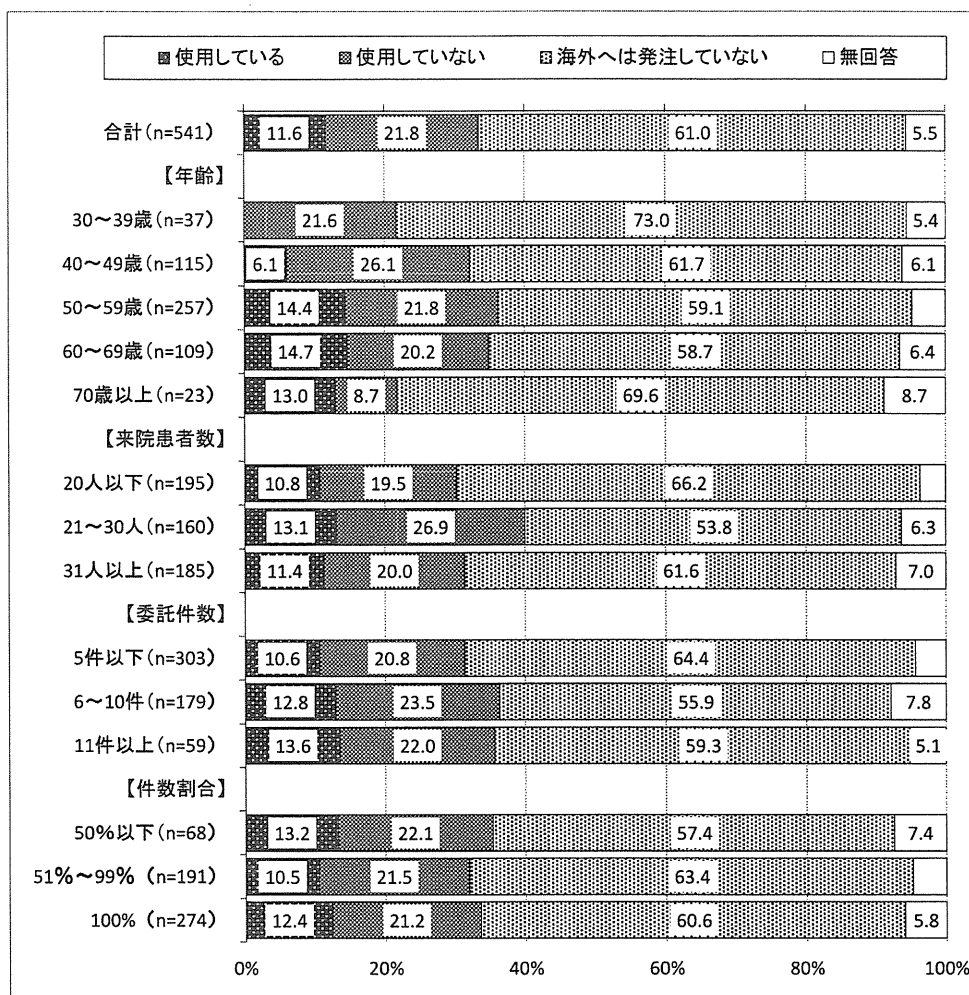


図 14 医院から海外の歯科技工所へ歯科補綴物を発注する場合、「補綴物管理票」等の帳票の使用の有無

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数をみると、「5件以下」では、「使用している」が10.6%、「使用していない」が20.8%、「海外へは発注していない」が64.4%、「6~10件」では、「使用している」が12.8%、「使用していない」が23.5%、「海外へは発注していない」が55.9%、「11件以上」では、「使用している」が13.6%、「使用していない」が22.0%、「海外へは発注していない」が59.3%となっており、「補綴物管理票」に関しては、「使用している」に関しては「歯科補綴物の委託（外注）件数」に関しては大きな差異はみられない。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合をみると、「50%以下」では、「使用している」が13.2%、「使用していない」が22.1%、「海外へは発注していない」が57.4%、「51%~99%」では、「使用している」が10.5%、「使用していない」が21.5%、「海外へは発注していない」が63.4%、「100%」では、「使用している」が12.4%、「使用していない」が21.2%、「海外へは発注していない」が60.6%となっており、「外部委託の件数割合」に関しての傾向に大きな差異はみられない(図14)。

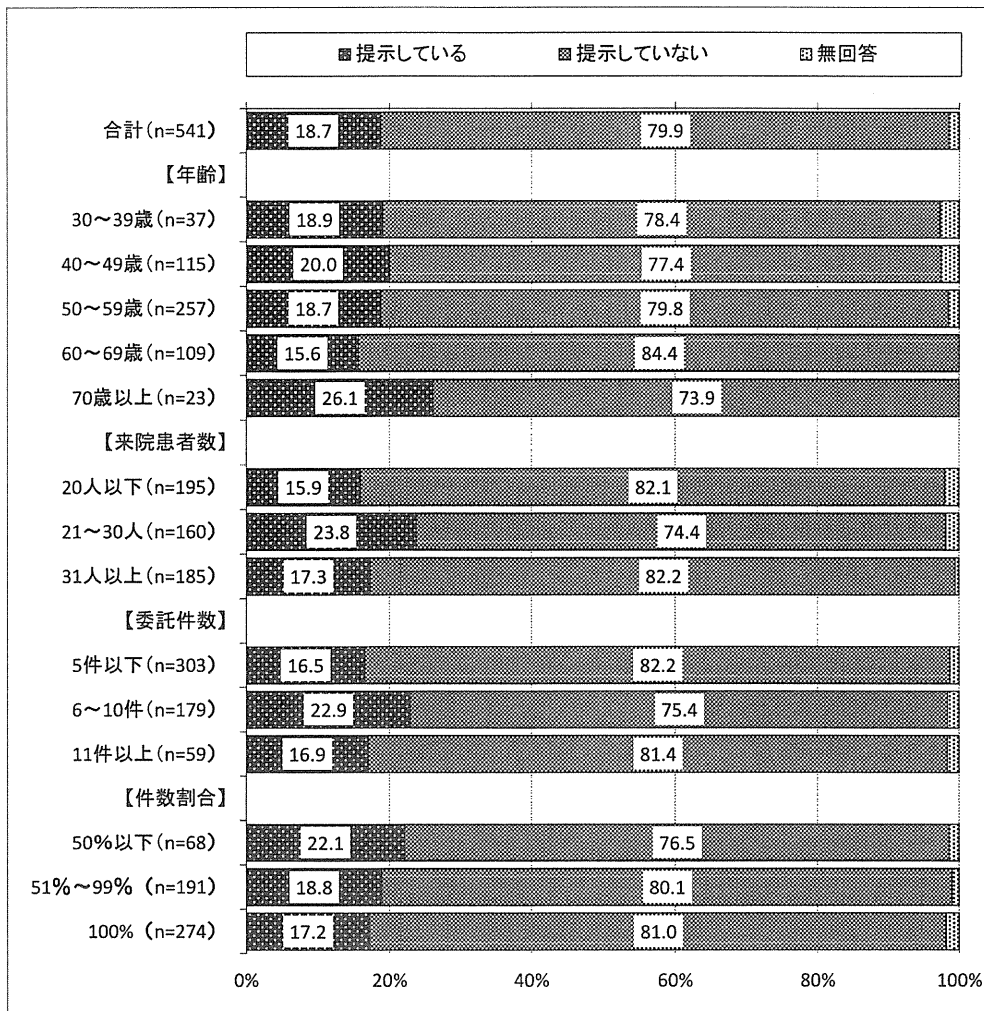


図15 ①歯科補綴物製作等に関する情報の院内掲示の有無

6. 歯科補綴物製作の外部委託に関して、患者への情報提供について

①歯科補綴物製作等に関する情報の院内掲示の有無について

歯科補綴物製作等に関する情報の院内掲示の有無について全体で見ると、「提示している」が18.7%、「提示していない」が79.9%となっており、8割が提示していない。

医院長の年齢別にみると「30～39歳」では、「提示している」が18.9%、「提示していない」が78.4%、「40～49歳」では、「提示している」が20.0%、「提示していない」が77.4%、「50～59歳」では、「提示している」が18.7%、「掲

示していない」が79.8%、「60～69歳」では、「提示している」が15.6%、「提示していない」が84.4%、「70歳以上」では、「提示している」が26.1%、「提示していない」が73.9%となっており、「60歳代」の掲示する割合が低い傾向である。

1日あたりの来院患者数別で見ると、「20人以下」では、「提示している」が15.9%、「提示していない」が82.1%、「21～30人」では、「提示している」が23.8%、「提示していない」が74.4%、「31人以上」では、「提示している」が17.3%、「提示していない」が82.2%となっており、「21～30人」では、掲示する割合が平均よりもやや高

い傾向である。

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数別でみると、「5件以下」では、「掲示している」が16.5%、「掲示していない」が82.2%、「6～10件」では、「掲示している」が22.9%、「掲示していない」が75.4%、「11件以上」では、「掲示している」が16.9%、「掲示していない」が81.4%、「6～10件」では、掲示する割合が平均よりもやや高い傾向である。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合をみると、「50%以下」では、「掲示している」が22.1%、「掲示していない」が76.5%、「51%～99%」では、「掲示している」が18.8%、「掲示していない」が80.1%、「100%」では、「掲示している」が17.2%、「掲示していない」が81.0%となっており、「50%以下」では、掲示する割合が平均よりもやや高い傾向である。

提示している主な内容としては、「パンフレット・ポスター」が22件、「国内の技工所で作成している」が10件、「技工所名の表示」が5件、「仕様材料表示」が3件、「ノンクラスプデンチャー」が2件などである（図15）。

② 歯科補綴物製作等に関する一般的なパンフレットの配布の有無について

歯科補綴物製作等に関する一般的なパンフレットの配布の有無について全体でみると、「配布している」が25.3%、「配布していない」が73.4%となっており、配布割合は4人に1人程度である。

医院長の年齢別にみると、「30～39

歳」では、「配布している」が37.8%、「配布していない」が59.5%、「40～49歳」では、「配布している」が27.8%、「配布していない」が71.3%、「50～59歳」では、「配布している」が26.8%、「配布していない」が71.2%、「60～69歳」では、「配布している」が16.5%、「配布していない」が83.5%、「70歳以上」では、「配布している」が17.4%、「配布していない」が82.6%となっており、ほぼ、加齢に伴い「配布率」が減少する傾向にある。

1日あたりの来院患者数別にみると、「20人以下」では、「配布している」が25.1%、「配布していない」が72.8%、「21～30人」では、「配布している」が22.5%、「配布していない」が76.3%、「31人以上」では、「配布している」が28.1%、「配布していない」が71.4%となっており、「21～30人」では、「配布している」が22.5%と平均を下回っている。

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数別でみると、「5件以下」では、「配布している」が23.1%、「配布していない」が75.6%、「6～10件」では、「配布している」が24.6%、「配布していない」が74.3%、「11件以上」では、「配布している」が39.0%、「配布していない」が59.3%となっており、1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数が多くなればなるほど、配布数が多くなる傾向である。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合でみると、「50%以下」では、「配布している」が19.1%、「配布していない」が79.4%、「51%～99%」では、「配布している」が27.2%、「配布

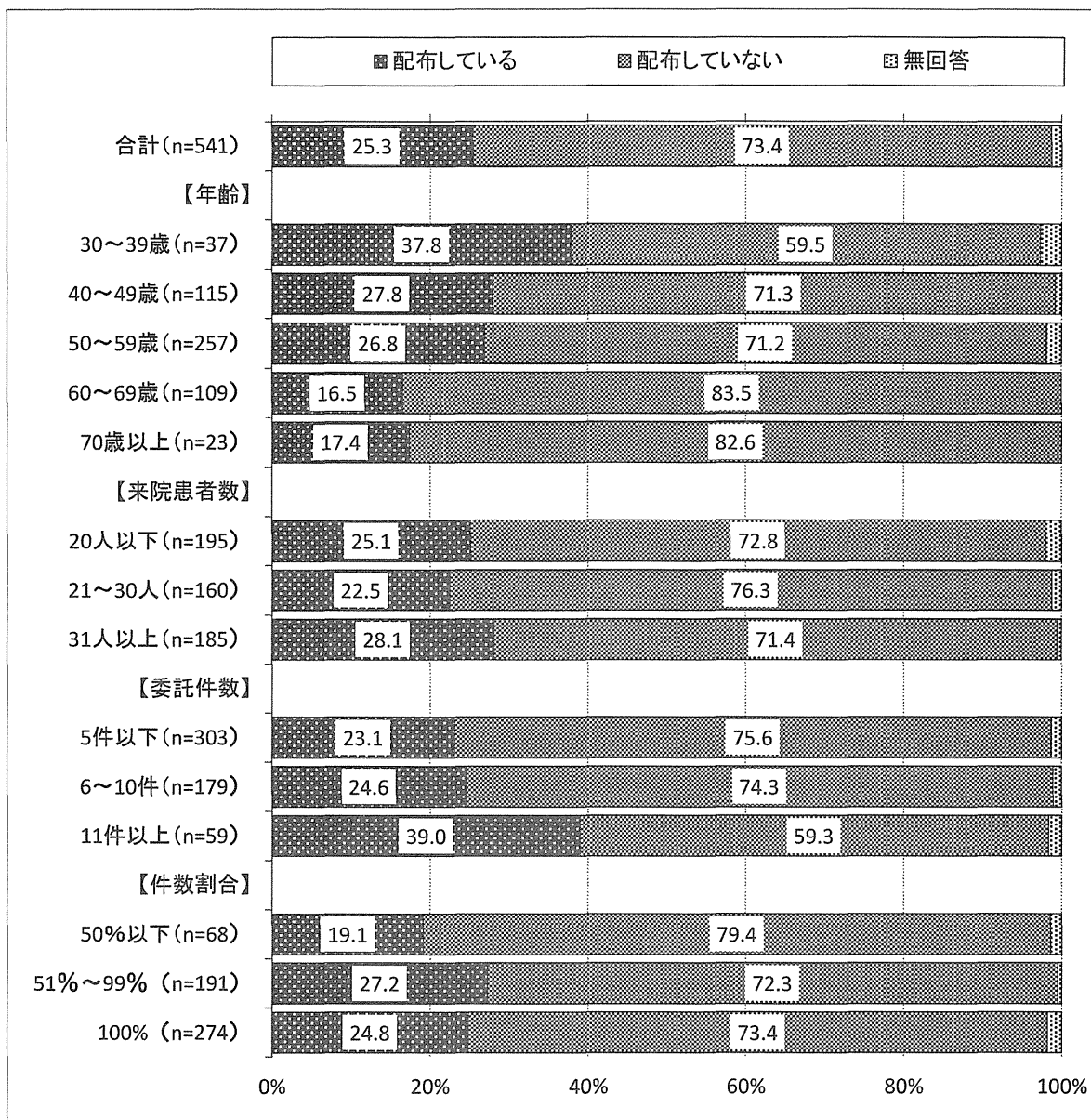


図 16 ② 歯科補綴物製作等に関する一般的なパンフレットの配布の有無

していない」が 72.3%、「100%」では、「配布している」が 24.8%、「配布していない」が 73.4%となっており、51%~99%では、「配布している」が 27.2%と平均値よりも高い傾向を示している。

提示している内容の主なものとしては、「自費と公費について」が 13 件、「材料・特長など」が 10 件、「ノンクラスデンチャー」が 9 件、「補綴の

種類・内容」が 8 件となっている（図 16）。

③ 患者自身の歯科補綴物製作等の情報が把握できる書類を患者へ配布の有無について

患者自身の歯科補綴物製作等の情報が把握できる書類を患者へ配布の有無について全体でみると、「配布している」が 32.0%、「配布していない」が 66.7%となっており、配布率が 3 割

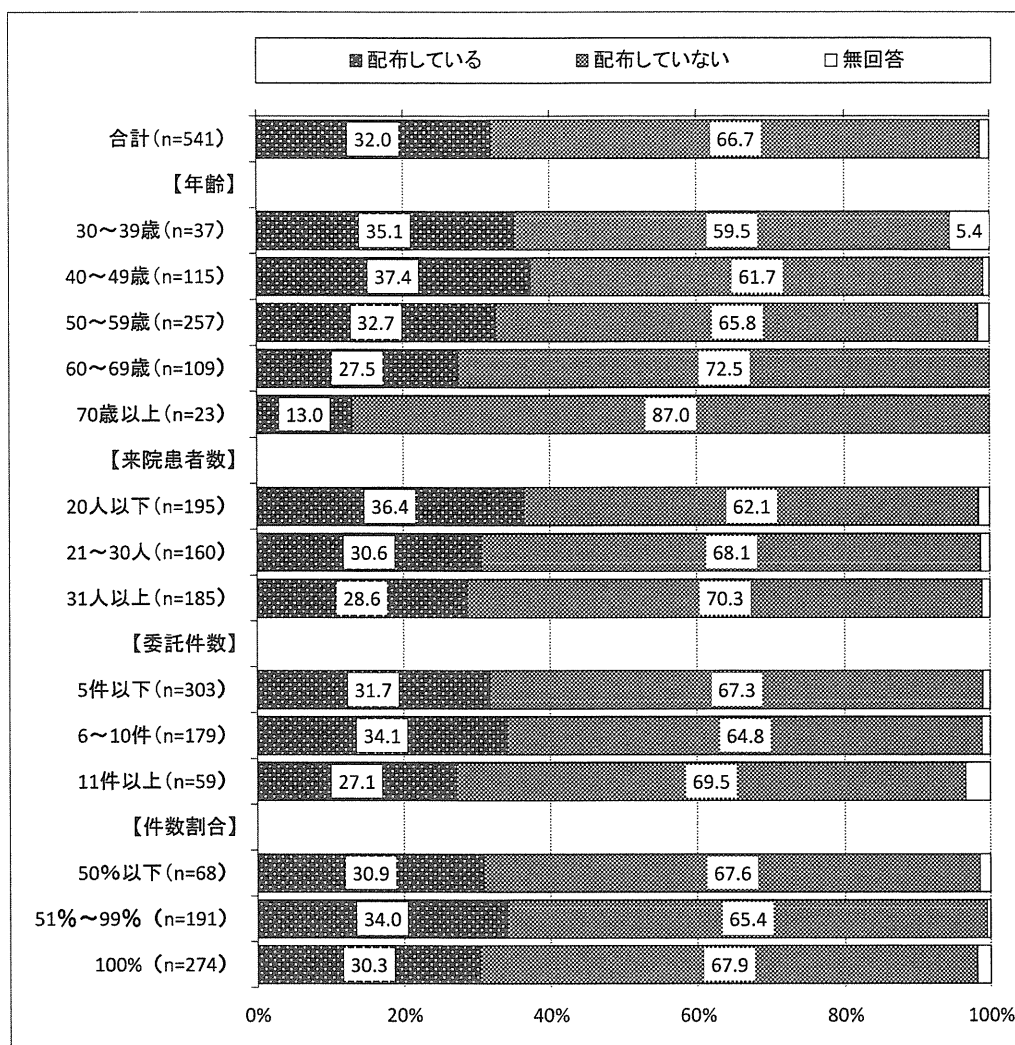


図 17 ③患者自身の歯科補綴物製作等の情報が把握できる書類を患者へ配布の有無

程度となっている。

医院長の年齢別にみると、「30～39歳」では、「配布している」が35.1%、「配布していない」が59.5%、「40～49歳」では、「配布している」が37.4%、「配布していない」が61.7%、「50～59歳」では、「配布している」が32.7%、「配布していない」が65.8%、「60～69歳」では、「配布している」が27.5%、「配布していない」が72.5%、「70歳以上」では、「配布している」が13.0%、「配布していない」が87.0%となっており、配布率はほぼ加齢と共に減少傾向にあることがうかがえる。

1日あたりの来院患者数別でみると、「20人以下」では、「配布している」が36.4%、「配布していない」が62.1%、「21～30人」では、「配布している」が30.6%、「配布していない」が68.1%、「30人以上」では、「配布している」が28.6%、「配布していない」が70.3%であり、来院患者数の増加と共に配布率が減少する傾向である。

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数別でみると、「5件以下」では、「配布している」が31.7%、「配布していない」が67.3%、「6～10件」では、「配布している」が34.1%、「配

布していない」が 64.8%, 「11 件以上」では, 「配布している」が 27.1%, 「配布していない」が 69.5%となっており, 「11 件以上」になると, 「配布率」が平均を下回る。

歯科補綴物製作のうち, 外部委託の件数割合でみると, 「50%以下」では, 「配布している」が 30.9%, 「配布していない」が 67.6%, 「51%~99%」では, 「配布している」が 34.0%, 「配布していない」が 65.4%, 「100%」では, 「配布している」が 30.3%, 「配布していない」が 67.9%となっており, 外部委託の件数割合別では拮抗した傾向である。

患者に提示している内容の主なものとしては, 「補綴物維持管理」が 31 件, 「装着物の取り扱い・保障等」が 13 件であった (図 17)。

以上, ① ② ③の歯科補綴物製作の外部委託に関して, 患者への各種の情報提供についてみると, ① 歯科補綴物製作等に関する情報について, 8割が院内掲示をしていない。医院長の年齢別では「60 歳代」の掲示する割合が低い。開院日 1 日あたりの来院患者数「21~30 人」では, 掲示する割合が平均よりもやや高い傾向である。1日あたりの歯科補綴物の委託(外注)件数別でみると, 「6~10 件」では, 掲示する割合が平均よりもやや高い傾向にある。歯科補綴物製作のうち, 外部委託の件数割合をみると, 「50%以下」では, 掲示する割合が平均よりもやや高い傾向である。提示している内容の主なものとしては, 「パンフレット・ポスター」が 22 件, 「国内の技工所で作成している」が 10 件, 「技工所名の表示」が 5 件, 「仕様材料表示」が 3 件, 「ノ

ンクラスデンチャー」が 2 件などである。

② 歯科補綴物製作等に関する一般的なパンフレットの配布の有無については, 配布割合は 4 人に 1 人程度である。医院長の年齢別にみるとほぼ, 加齢に伴い「配布率」が減少する傾向にある。1日あたりの来院患者数別にみると, 「21~30 人」では, 「配布している」が 22.5%と平均を下回っている。1日あたりの歯科補綴物の委託(外注)件数が多くなればなるほど, 配布数が多くなる傾向である。外部委託の件数割合でみると, 「51%~99%」では, 「配布している」が 27.2%と平均値よりも高い傾向を示している。提示している内容の主なものとしては, 「自費と公費について」が 13 件, 「材料・特長など」が 10 件, 「ノンクラスデンチャー」が 9 件, 「補綴の種類・内容」が 8 件となっている。

③ 患者自身の歯科補綴物製作等の情報が把握できる書類を患者へ配布しているかどうかについては, 配布率が 3 割程度。医院長の年齢別にみると, 配布率はほぼ加齢と共に減少傾向にある。1日あたりの来院患者数別でみると, 来院患者数の増加と共に配布率が減少する傾向である。1日あたりの歯科補綴物の委託(外注)件数別でみると, 「11 件以上」になると, 「配布率」が平均を下回る。歯科補綴物製作のうち, 外部委託の件数割合でみると, 外部委託の件数割合別では拮抗した傾向である。患者に提示している内容の主なものとしては, 「補綴物維持管理」が 31 件, 「装着物の取り扱い・保証等」が 13 件であった。

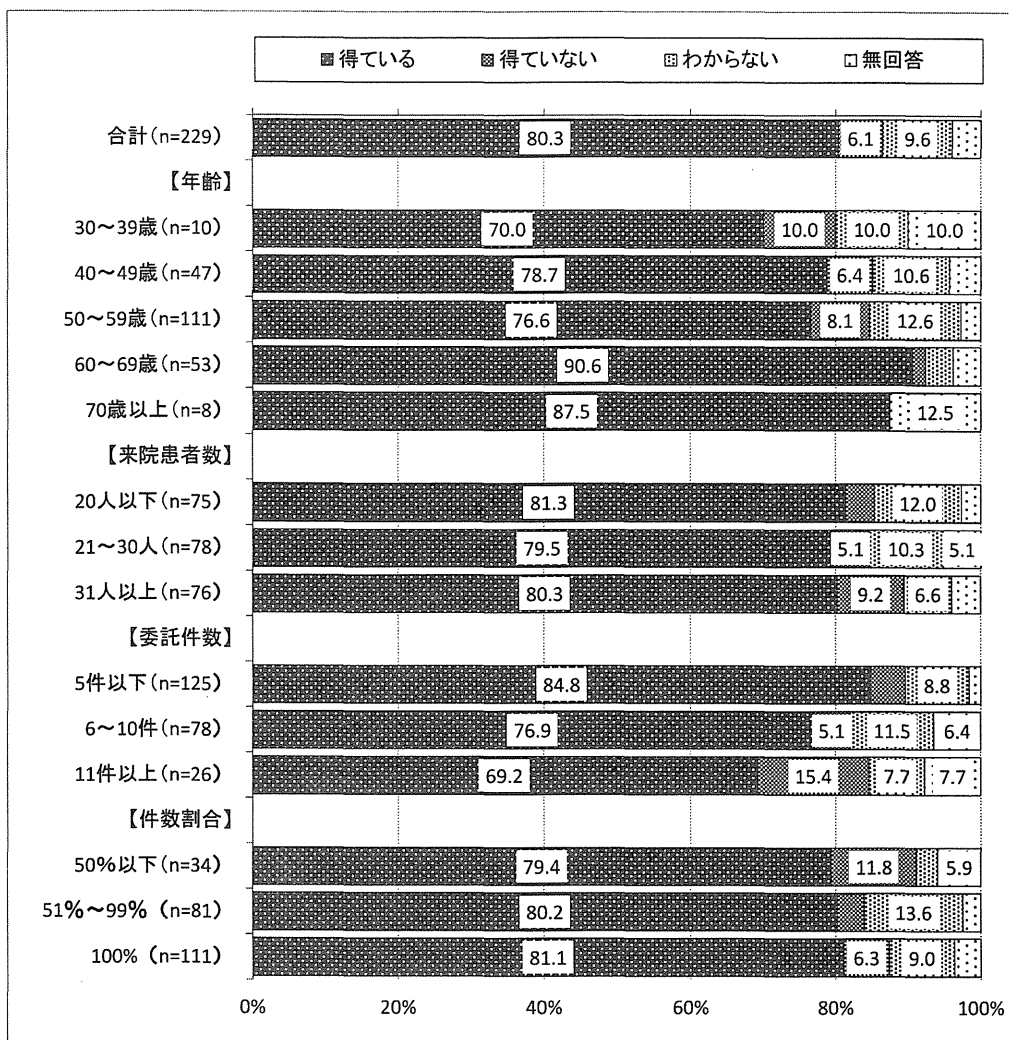


図 18 歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合、貴院に対しての「事前承認」の有無

7. 歯科技工所から補綴物等が納品される時に作業工程，材料の組成やロット番号等の情報提供を受けている内容あるいは情報提供を指示している内容について

※歯科技工士法施行規則第 12 条に定める記載事項（①設計，②作成の方法，③使用材料，④発行の年月日，⑤発行した歯科医師の住所及び氏名，⑥該当指示書による歯科技工が行われる場所が歯科技工所である時はその名称）は除く。

その情報提供の内容についての情報提供手段では、「口頭による提供」「文書による提供」「その他」に関して主なものをまとめたものが次の通りである。「ジルコニアフレームのロット番号」が22件，「作業責任者/担当者名」が15件，「作業工程」11件，「患者の氏名」が3件，おのおの2件が「性別」と「年齢」，「クリアランス」「マージン」であった。

8. 歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合、貴院に対しての「事前承認」の有無

認」の有無について（以下14までの質問項目の集計対象は「海外へ委託している歯科医院のみ」として算出した）

歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合、貴院に対しての「事前承認」の有無について全体でみると、「得ている」が80.3%、「得ていない」が6.1%、「わからない」が9.6%となっており、8割が事前承認を得ている。

医院長の年齢別にみると、「30～39歳」では、「得ている」が70.0%、「得ていない」が10.0%、「わからない」が10.0%、「40～49歳」では、「得ている」が78.7%、「得ていない」が6.4%、「わからない」が10.6%、「50～59歳」では、「得ている」が76.6%、「得ていない」が8.1%、「わからない」が12.6%、「60～69歳」では、「得ている」が90.6%、「得ていない」が1.9%、「わからない」が3.8%、「70歳以上」では、「得ている」が87.5%、「得ていない」が0.0%、「わからない」が0.0%となっており、「事前承認を得ている」では、最も高いのが、「60歳代」の90.6%で、最も低いのが「30歳代」の70.0%となっている。

1日あたりの来院患者数別でみると、「20人以下」では、「得ている」が81.3%、「得ていない」が4.0%、「わからない」が12.0%、「21～30人」では、「得ている」が79.5%、「得ていない」が5.1%、「わからない」が10.3%、「31人以上」では、「得ている」が80.3%、「得ていない」が9.2%、「わからない」が6.6%と拮抗している。

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数でみると、「5件以下」では、「得ている」が84.8%、「得ていない」

が4.8%、「わからない」が8.8%、「6～10件」では、「得ている」が76.9%、「得ていない」が5.1%、「わからない」が11.5%、「11件以上」では、「得ている」が69.2%、「得ていない」が15.4%、「わからない」が7.7%となっており、「得ている」については、歯科補綴物の委託（外注）件数が増加すればするほど、その割合は減少していく傾向である。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合でみると、「50%以下」では、「得ている」が79.4%、「得ていない」が11.8%、「わからない」が2.9%、「51～99%」では、「得ている」が80.2%、「得ていない」が3.7%、「わからない」が13.6%、「100%」では、「得ている」が81.1%、「得ていない」が6.3%、「わからない」が9.0%となっており、「得ている」に関しては、外部委託の件数割合との関係はみられない（図18）。

9.「歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合、貴院に対して事前承認」を得ている方法について

歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合、「事前承認」を得ている方法について全体でみると、「用紙にて（紙媒体）」が90.8%、「電子メール（文章や添付ファイル等）」が1.6%、「FAX」が2.7%、「電話」が6.5%、「その他」が5.4%となっており、「用紙にて（紙媒体）」が90.8%と他の情報伝達手段を圧倒している（図19）。

医院長の年齢別にみると、「30～39歳」では、「用紙にて（紙媒体）」が100.0%、「電子メール（文章や添付ファイル等）」が0.0%、「FAX」が0.0%、「電話」が14.3%、「その他」が0.0%、

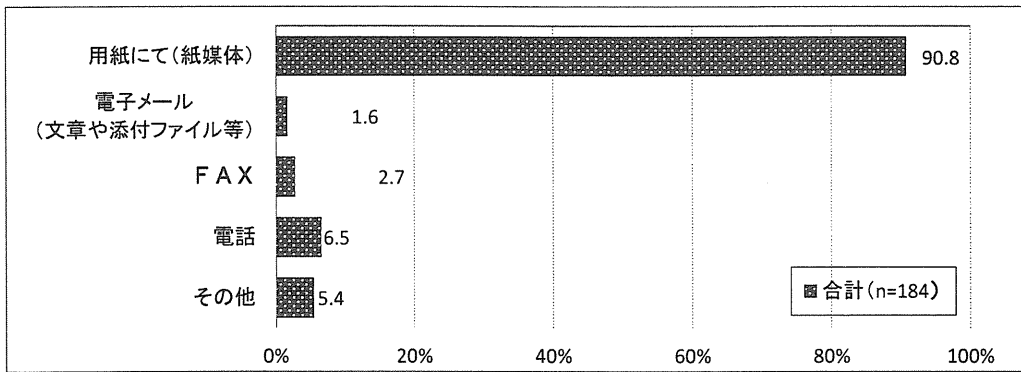


図19 「歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合，貴院に対して事前承認」を得ている方法（全体）

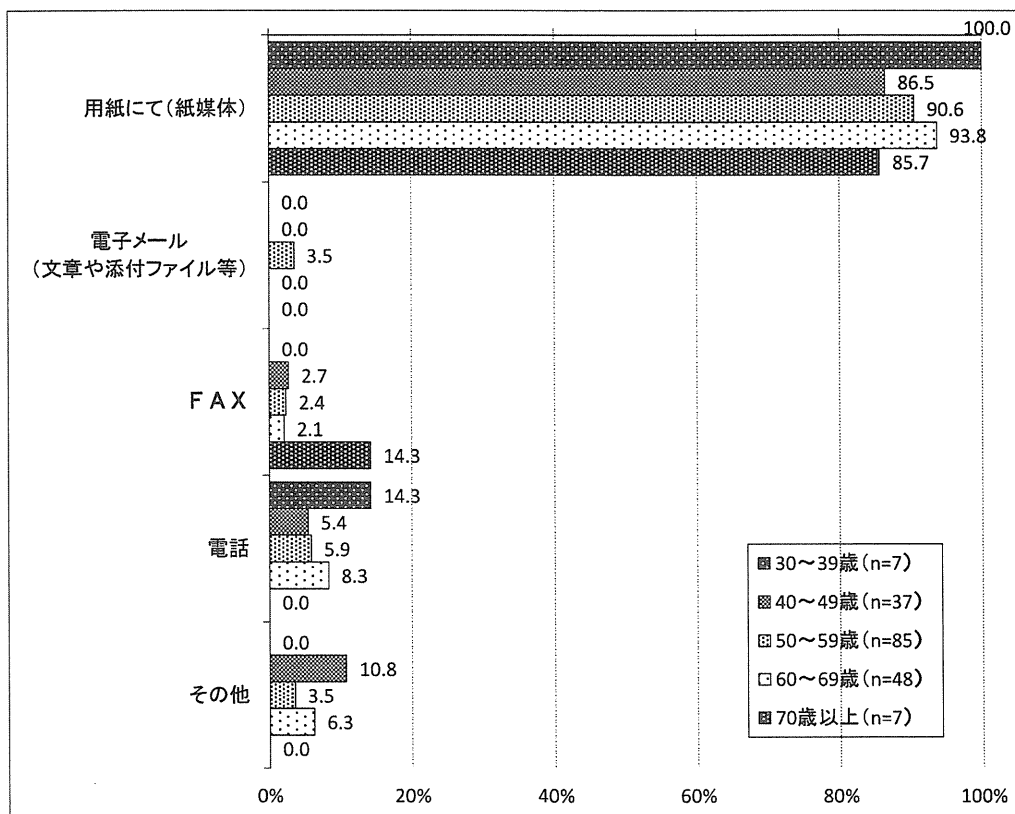


図20 「歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合，貴院に対して事前承認」を得ている方法（年齢別）

「40～49歳」では、「用紙にて（紙媒体）」が86.5%、「電子メール（文章や添付ファイル等）」が0.0%、「FAX」が2.7%、「電話」が5.4%、「その他」が10.8%、「50～59歳」では、「用紙にて（紙媒体）」が90.6%、「電子メール（文章や添付ファイル等）」が3.5%、「FAX」

が2.4%、「電話」が5.9%、「その他」が3.5%、「60～69歳」では、「用紙にて（紙媒体）」が93.8%、「電子メール（文章や添付ファイル等）」が0.0%、「FAX」が2.1%、「電話」が8.3%、「その他」が6.3%、「70歳以上」では、「用紙にて（紙媒体）」が85.7%、「電子メール（文

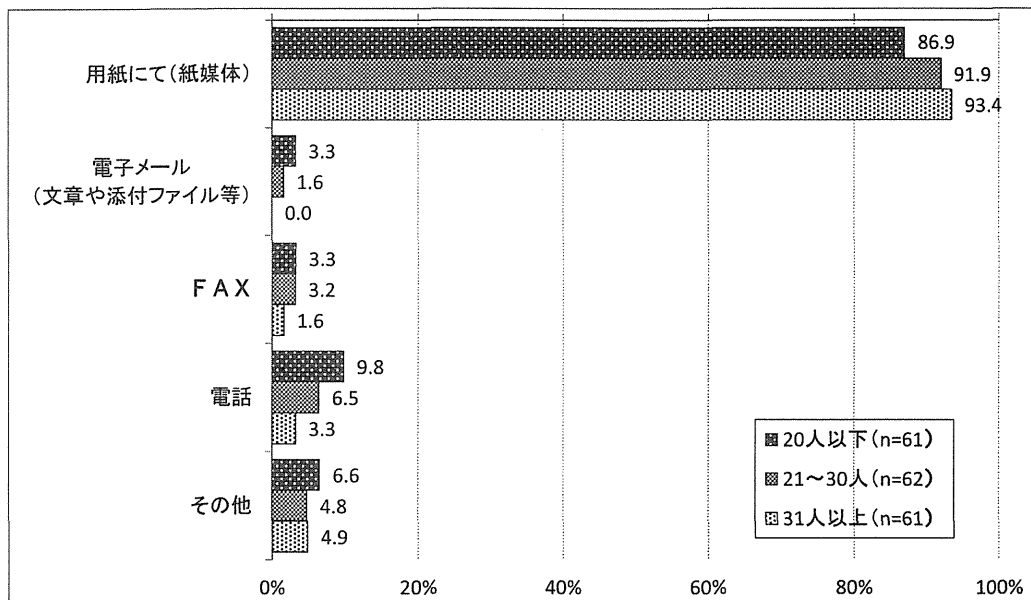


図21 「歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合，貴院に対して事前承認」を得ている方法（1日あたりの来院患者数別）

章や添付ファイル等）」が 0.0%、「FAX」が 14.3%、「電話」が 0.0%、「その他」が 0.0%となっており，各年代ともに「用紙にて（紙媒体）」が圧倒的であるが，加齢と共にその割合が減少する。一方，「FAX」においては，「70 歳代」の活用が他の年代の 6~7 倍になっている（図 20）。

1 日あたりの来院患者数別にみると，「20 人以下」では，「用紙にて（紙媒体）」が 86.9%，「電子メール（文章や添付ファイル等）」が 3.3%，「FAX」が 3.3%，「電話」が 9.8%，「その他」が 6.6%，「21~30 人」では，「用紙にて（紙媒体）」が 91.9%，「電子メール（文章や添付ファイル等）」が 1.6%，「FAX」が 3.2%，「電話」が 6.5%，「その他」が 4.8%，「31 人以上」では，「用紙にて（紙媒体）」が 93.4%，「電子メール（文章や添付ファイル等）」が 0.0%，「FAX」が 1.6%，「電話」が 3.3%，「その他」が 4.9%となっており，「電話」に関しては，患者が少ない程，割合が

高くなる傾向である（図 21）。

1 日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数をみると，「5 件以下」では，「用紙にて（紙媒体）」が 89.6%，「電子メール（文章や添付ファイル等）」が 1.9%，「FAX」が 3.8%，「電話」が 7.5%，「その他」が 5.7%，「6~10 件」では，「用紙にて（紙媒体）」が 95.0%，「電子メール（文章や添付ファイル等）」が 1.7%，「FAX」が 1.7%，「電話」が 6.7%，「その他」が 1.7%，「11 件以上」では，「用紙にて（紙媒体）」が 83.3%，「電子メール（文章や添付ファイル等）」が 0.0%，「FAX」が 0.0%，「電話」が 0.0%，「その他」が 16.7%となっている（図 22）。

歯科補綴物製作のうち，外部委託の件数割合でみると，「50%以下」では，「用紙にて（紙媒体）」が 92.6%，「電子メール（文章や添付ファイル等）」が 0.0%，「FAX」が 3.7%，「電話」が 7.4%，「その他」が 3.7%，「51%~99%」では，「用紙にて（紙媒体）」が 90.8%，

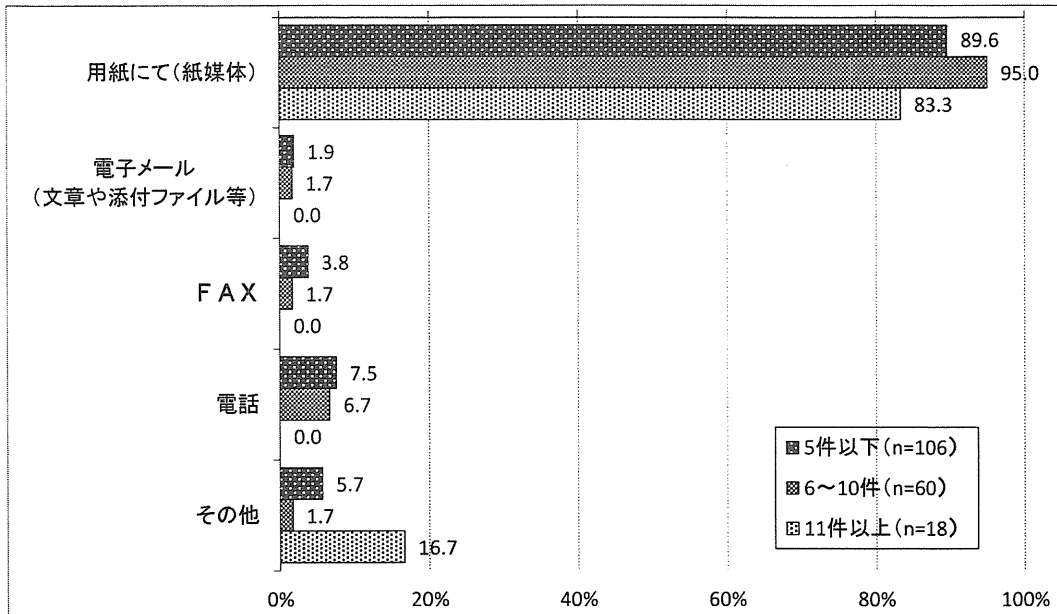


図22 「歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合，貴院に対して事前承認」を得ている方法（1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数別）

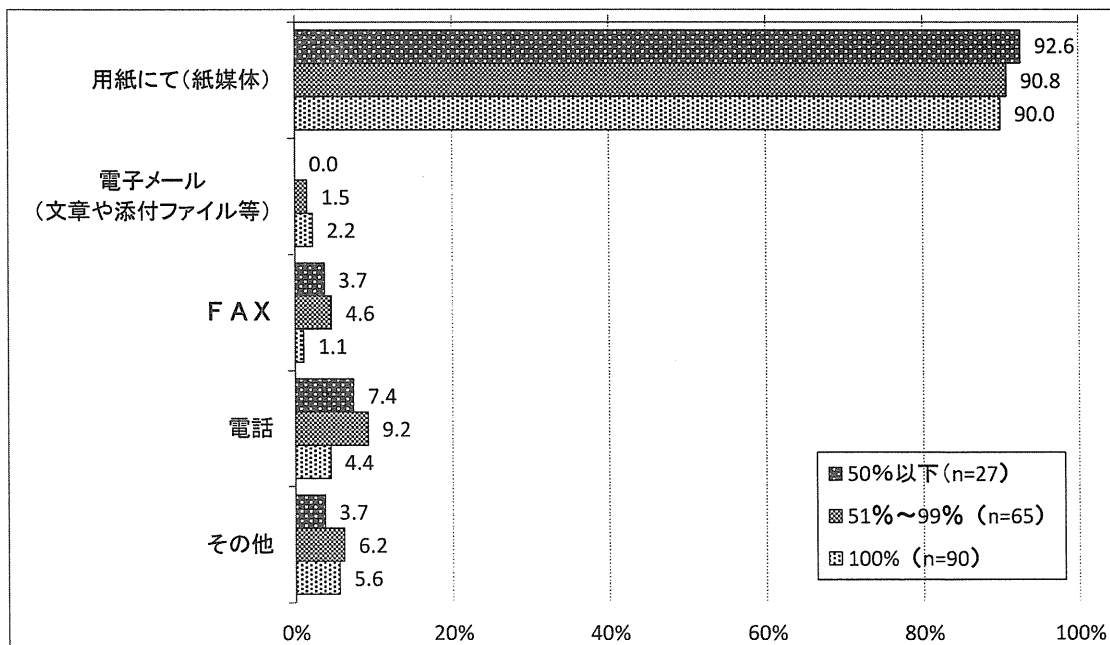


図23 「歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合，貴院に対して事前承認」を得ている方法（歯科補綴物製作のうち，外部委託の件数割合別）

「電子メール（文章や添付ファイル等）」が1.5%、「FAX」が4.6%、「電話」が9.2%、「その他」が6.2%、「100%」では、「用紙にて（紙媒体）」が90.0%、「電子メール（文章や添付ファイル

等）」が2.2%、「FAX」が1.1%、「電話」が4.4%、「その他」が5.6%となっており，外部委託の件数割合に関係なく「用紙にて（紙媒体）」が9割を超えている（図23）。

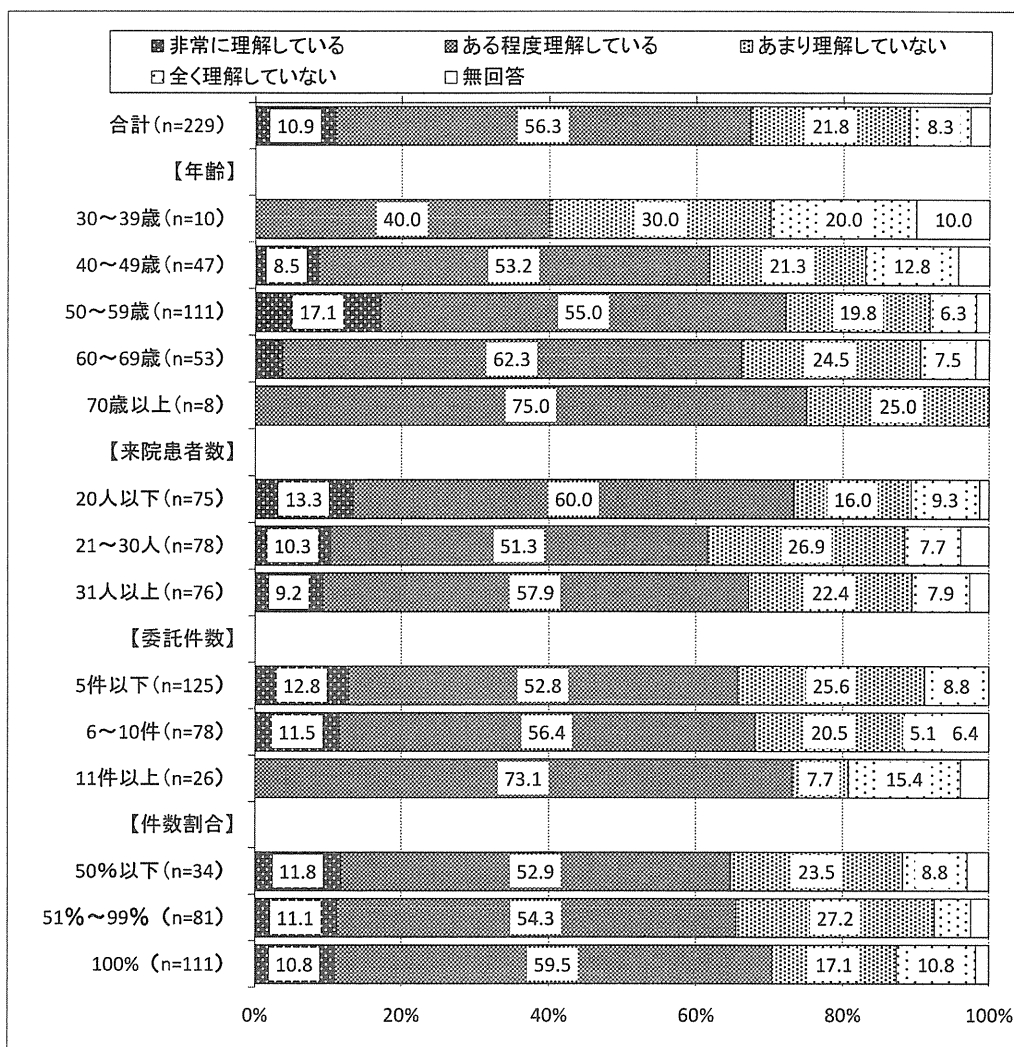


図24 海外での歯科補綴物製作の「作業行程」に関する理解度

10. 海外での歯科補綴物製作の「作業行程」に関する理解度について

海外での歯科補綴物製作の「作業行程」に関する理解度について全体で見ると、「非常に理解している」が10.9%、「ある程度理解している」が56.3%、「あまり理解していない」が21.8%、「全く理解していない」が8.3%となっており、「非常に理解している」+「ある程度理解している」=『理解している』が67.2%で、7割弱が理解している。

医院長の年齢別にみると、「30~39歳」では、「非常に理解している」が0.0%、「ある程度理解している」が

40.0%、「あまり理解していない」が30.0%、「全く理解していない」が20.0%で、『理解している』が40.0%、「40~49歳」では、「非常に理解している」が8.5%、「ある程度理解している」が53.2%、「あまり理解していない」が21.3%、「全く理解していない」が12.8%で、『理解している』が61.7%、「50~59歳」では、「非常に理解している」が17.1%、「ある程度理解している」が55.0%、「あまり理解していない」が19.8%、「全く理解していない」が6.3%で、『理解している』が72.1%、「60~69歳」では、「非常に理解している」が3.8%、「ある程度理解している」が

62.3%、「あまり理解していない」が24.5%、「全く理解していない」が7.5%で、『理解している』が66.1%、「70歳以上」では、「非常に理解している」が0.0%、「ある程度理解している」が75.0%、「あまり理解していない」が25.0%、「全く理解していない」が0.0%で、『理解している』が75.0%となっており、「40歳代」の『理解している』が40.0%と最も低い。

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数でみると、「5件以下」では、「非常に理解している」が12.8%、「ある程度理解している」が52.8%、「あまり理解していない」が25.6%、「全く理解していない」が8.8%、『理解している』が65.6%、「6～10件」では、「非常に理解している」が11.5%、「ある程度理解している」が56.4%、「あまり理解していない」が20.5%、「全く理解していない」が5.1%、『理解している』が67.9%、「11件以上」では、「非常に理解している」が0.0%、「ある程度理解している」が73.1%、「あまり理解していない」が7.7%、「全く理解していない」が15.4%、『理解している』が73.1%となっており、歯科補綴物の委託（外注）件数が多い程、『理解している』割合が高くなる傾向がうかがえる。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合でみると、「50%以下」では、「非常に理解している」が11.8%、「ある程度理解している」が52.9%、「あまり理解していない」が23.5%、「全く理解していない」が8.8%、『理解している』が64.7%、「51%～99%」では、「非常に理解している」が11.1%、「ある程度理解している」が54.3%、「あま

り理解していない」が27.2%、「全く理解していない」が4.9%、『理解している』が65.4%、「100%」では、「非常に理解している」が10.8%、「ある程度理解している」が59.5%、「あまり理解していない」が17.1%、「全く理解していない」が10.8%、『理解している』が70.3%となっており、外部委託の件数割合が多くなるほど、『理解している』割合が増加する（図24）。

11. 海外での歯科補綴物製作に使用される「材料」についての理解度について

海外での歯科補綴物製作に使用される「材料」についての理解度は、「非常に理解している」が17.5%、「ある程度理解している」が64.6%、「あまり理解していない」が13.1%、「全く理解していない」が4.4%となっており、『理解している』が82.1%で8割以上が理解していることがわかる。

医院長の年齢別にみると、「30～39歳」では、「非常に理解している」が20.0%、「ある程度理解している」が70.0%、「あまり理解していない」が10.0%、「全く理解していない」が0.0%、『理解している』が90.0%、「40～49歳」では、「非常に理解している」が17.0%、「ある程度理解している」が59.6%、「あまり理解していない」が17.0%、「全く理解していない」が4.3%、『理解している』が76.6%、「50～59歳」では、「非常に理解している」が24.3%、「ある程度理解している」が57.7%、「あまり理解していない」が12.6%、「全く理解していない」が5.4%、『理解している』が82.0%、「60～69歳」では、「非常に理解している」が

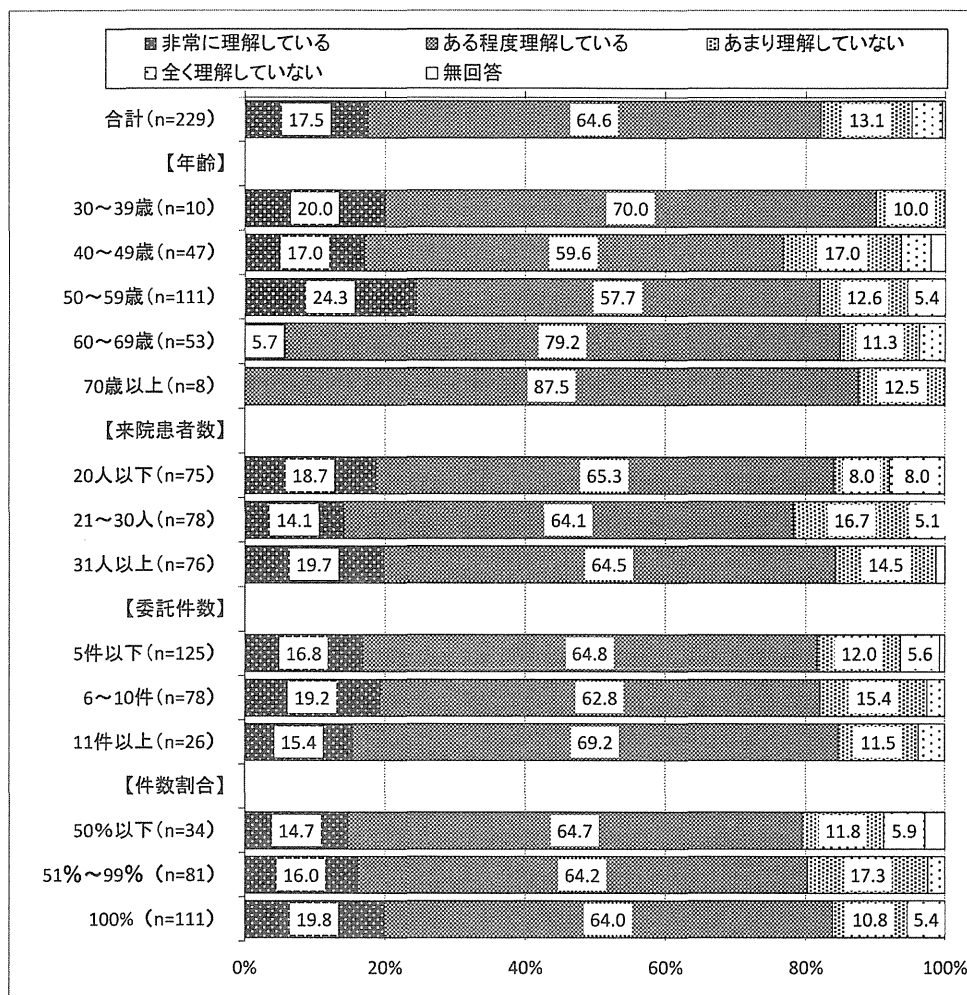


図 25 海外での歯科補綴物製作に使用される「材料」についての理解度

5.7%、「ある程度理解している」が 79.2%、「あまり理解していない」が 11.3%、「全く理解していない」が 3.8%、『理解している』が 84.9%、「70歳以上」では、「非常に理解している」が 0.0%、「ある程度理解している」が 87.5%、「あまり理解していない」が 12.5%、「全く理解していない」が 0.0% 『理解している』が 87.5%となっており、各年齢層の中でもっとも低いのが「40~49歳」の 76.6%である。

1日あたりの来院患者数別でみると、「20人以下」では、「非常に理解している」が 18.7%、「ある程度理解している」が 65.3%、「あまり理解していない」

が 8.0%、「全く理解していない」が 8.0%、『理解している』が 84.0%、「21~30人」では、「非常に理解している」が 14.1%、「ある程度理解している」が 64.1%、「あまり理解していない」が 16.7%、「全く理解していない」が 5.1%、『理解している』が 78.2%、「31人以上」では、「非常に理解している」が 19.7%、「ある程度理解している」が 64.5%、「あまり理解していない」が 14.5%、「全く理解していない」が 0.0%、『理解している』が 84.2%となっており、「21~30人」では、『理解している』がやや低い傾向である。

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数で見ると、「5件以下」では、「非常に理解している」が16.8%、「ある程度理解している」が64.8%、「あまり理解していない」が12.0%、「全く理解していない」が5.6%、『理解している』が81.6%、「6～10件」では、「非常に理解している」が19.2%、「ある程度理解している」が62.8%、「あまり理解していない」が15.4%、「全く理解していない」が2.6%、『理解している』が82.0%、「11件以上」では、「非常に理解している」が15.4%、「ある程度理解している」が69.2%、「あまり理解していない」が11.5%、「全く理解していない」が3.8%、『理解している』が84.6%となっており、歯科補綴物の委託（外注）件数別でも『理解している』割合は拮抗している。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合で見ると、「50%以下」では、「非常に理解している」が14.7%、「ある程度理解している」が64.7%、「あまり理解していない」が11.8%、「全く理解していない」が5.9%、『理解している』が79.4%、「51%～99%」では、「非常に理解している」が16.0%、「ある程度理解している」が64.2%、「あまり理解していない」が17.3%、「全く理解していない」が2.5%、『理解している』が80.2%、「100%」では、「非常に理解している」が19.8%、「ある程度理解している」が64.0%、「あまり理解していない」が10.8%、「全く理解していない」が5.4%、『理解している』が83.8%となっており、外部委託の件数割合においても歯科補綴物の委託（外注）件数においても『理解している』割合は拮抗している（図25）。

12. 海外で製作された歯科補綴物について、患者に対しての説明の有無について

海外で製作された歯科補綴物について、患者に対しての説明の有無について全体で見ると、「説明している」が28.4%、「説明する時としない時がある」が33.2%、「説明していない」が37.1%となっており、「説明している」のが、3割弱である。また、逆に「説明していない」が4割弱というのが問題であろう。

医院長の年齢別にみると、「30～39歳」では、「説明している」が20.0%、「説明する時としない時がある」が40.0%、「説明していない」が40.0%、「40～49歳」では、「説明している」が27.7%、「説明する時としない時がある」が38.3%、「説明していない」が31.9%、「50～59歳」では、「説明している」が31.5%、「説明する時としない時がある」が27.0%、「説明していない」が40.5%、「60～69歳」では、「説明している」が22.6%、「説明する時としない時がある」が41.5%、「説明していない」が34.0%、「70歳以上」では、「説明している」が37.5%、「説明する時としない時がある」が25.0%、「説明していない」が37.5%となっており、「説明している」の平均を超えているのは、「70歳代」のみである。（但し、n数が「3」と少ないために確定的なことは言えない）。

1日あたりの来院患者数別で見ると、「20人以下」では、「説明している」が33.3%、「説明する時としない時がある」が33.3%、「説明していない」が33.3%、「21～30人」では、「説明している」が21.8%、「説明する時としない

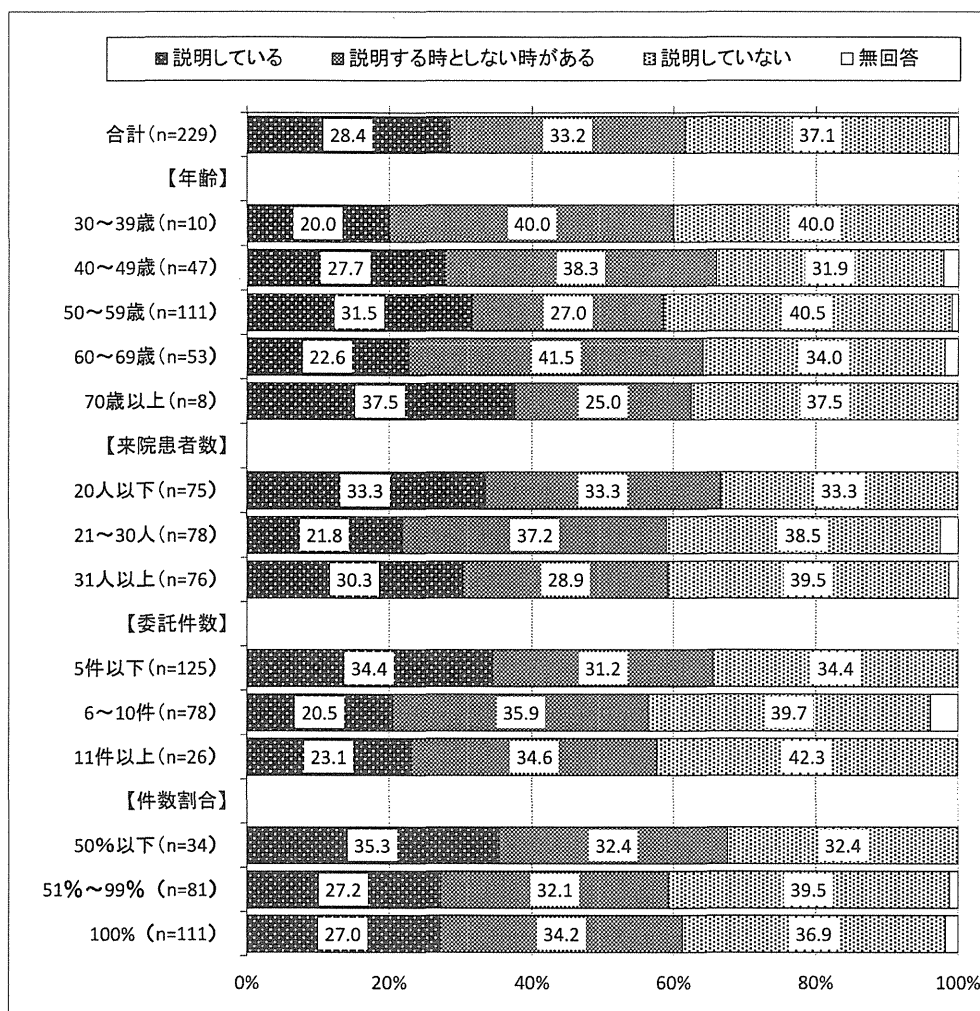


図26 海外で製作された歯科補綴物について、患者に対しての説明の有無

い時がある」が37.2%、「説明していない」が38.5%、「31人以上」では、「説明している」が30.3%、「説明する時としない時がある」が28.9%、「説明していない」が39.5%となっている。

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数でみると、「5件以下」では、「説明している」が34.4%、「説明する時としない時がある」が31.2%、「説明していない」が34.4%、「6~10件」では、「説明している」が20.5%、「説明する時としない時がある」が35.9%、「説明していない」が39.7%、「11件以上」では、「説明している」が23.1%、「説明する時としない時がある」が

34.6%、「説明していない」が42.3%となっている。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合でみると、「50%以下」では、「説明している」が35.3%、「説明する時としない時がある」が32.4%、「説明していない」が32.4%、「51%~99%」では、「説明している」が27.2%、「説明する時としない時がある」が32.1%、「説明していない」が39.5%、「100%」では、「説明している」が27.0%、「説明する時としない時がある」が34.2%、「説明していない」が36.9%となっている（図26）。

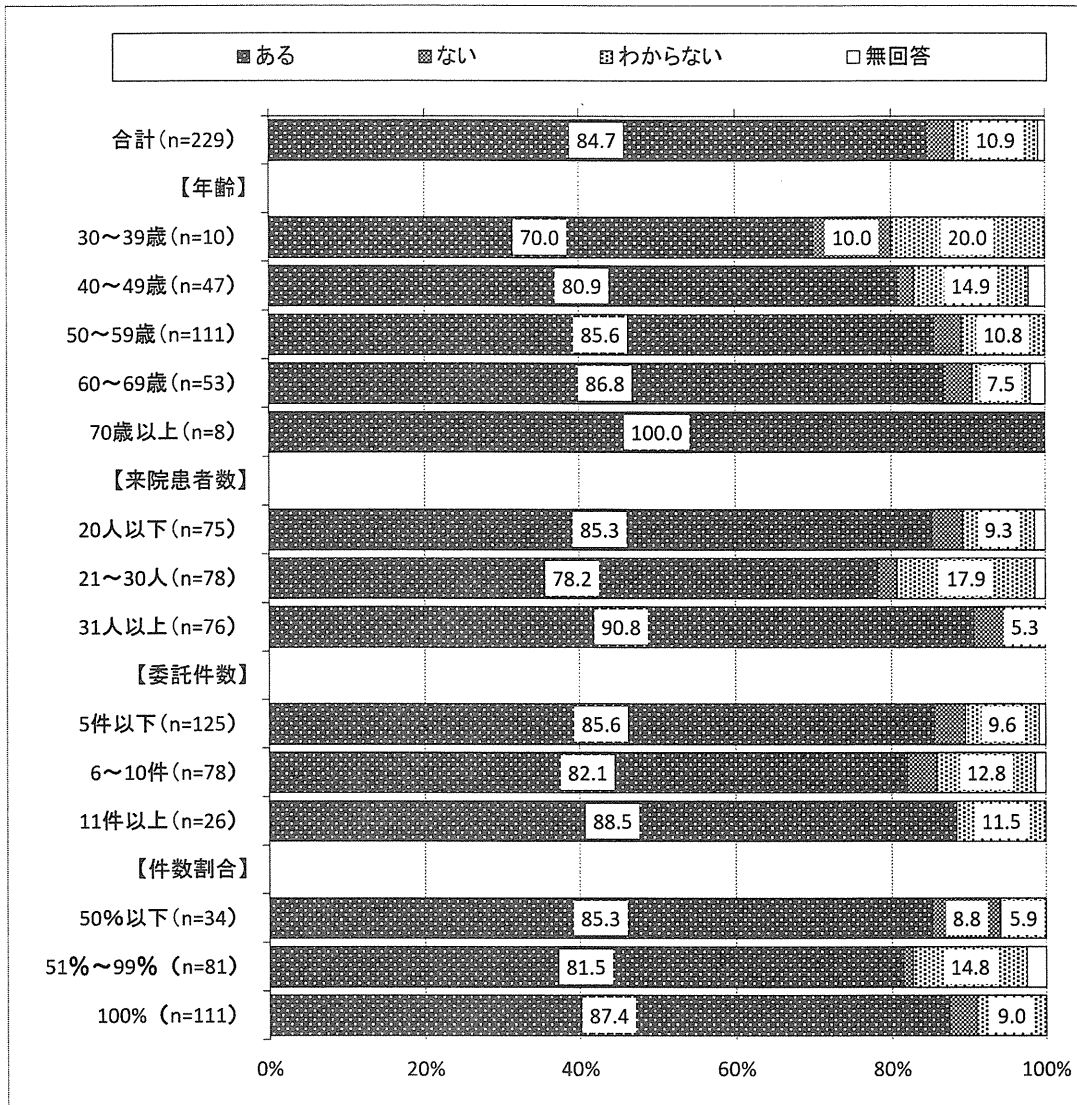


図27 海外で製作された歯科補綴物に関する保証の有無

13. 海外で製作された歯科補綴物に関する保証の有無について

海外で製作された歯科補綴物に関する保証の有無について全体で見ると、「保証がある」が84.7%、「保証はない」が3.5%、「わからない」が10.9%となっていることから、保証は8割強である。

医院長の年齢別にみると、「30～39歳」では、「保証がある」が70.0%、「保証はない」が10.0%、「わからない」が20.0%、「40～49歳」では、「保証がある」が80.9%、「保証はない」が2.1%、「わからない」が14.9%、「50～59歳」

では、「保証がある」が85.6%、「保証はない」が3.6%、「わからない」が10.8%、「60～69歳」では、「保証がある」が86.8%、「保証はない」が3.8%、「わからない」が7.5%、「70歳以上」では、「保証がある」が100.0%、「保証はない」が0.0%、「わからない」が0.0%となっている。

1日あたりの来院患者数別で見ると、「20人以下」では、「保証がある」が85.3%、「保証はない」が4.0%、「わからない」が9.3%、「21～30人」では、「保証がある」が78.2%、「保証はない」が2.6%、「わからない」が17.9%、「30

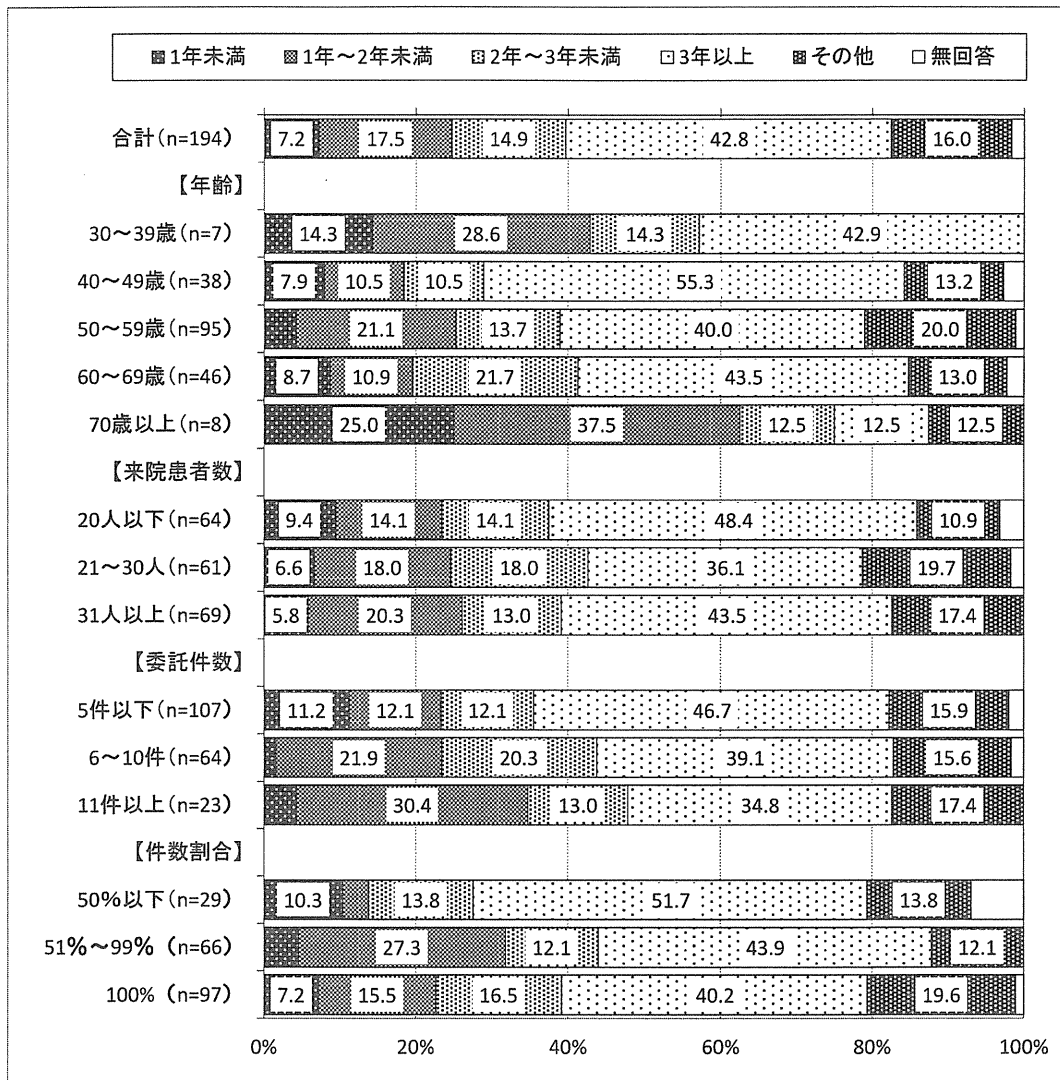


図28 保証期間に関して

人以上」では、「保証がある」が90.8%、「保証はない」が3.9%、「わからない」が5.3%となっており、傾向としては「30人以上」の来院患者数であれば、保証が9割程度になる。

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数でみると、「5件以下」では、「保証がある」が85.6%、「保証はない」が4.0%、「わからない」が9.6%、「6～10件」では、「保証がある」が82.1%、「保証はない」が3.8%、「わからない」が12.8%、「11件以上」では、「保証がある」が88.5%、「保証はない」が0.0%、「わからない」11.5%となっ

ている。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合でみると、「50%以下」では、「保証がある」が85.3%、「保証はない」が8.8%、「わからない」が5.9%、「51%～99%」では、「保証がある」が81.5%、「保証はない」が1.2%、「わからない」が14.8%、「100%」では、「保証がある」が87.4%、「保証はない」が3.6%、「わからない」が9.0%となっており、「51%～99%」では、「保証がある」が81.5%とやや低い傾向である（図27）。

14. 保証期間に関して

保証期間に関して全体でみると、「1年未満」が7.2%、「1年～2年未満」が17.5%、「2年～3年未満」が14.9%、「3年以上」が42.8%、「その他」が16.0%となっており、保証期間が「3年以上」が4割強である。

医院長の年齢別にみると、「30～39歳」では、「1年未満」が14.3%、「1年～2年未満」が28.6%、「2年～3年未満」が14.3%、「3年以上」が42.9%、「その他」が0.0%、「40～49歳」では、「1年未満」が7.9%、「1年～2年未満」が10.5%、「2年～3年未満」が10.5%、「3年以上」が55.3%、「その他」が13.2%、「50～59歳」では、「1年未満」が4.2%、「1年～2年未満」が21.1%、「2年～3年未満」が13.7%、「3年以上」が40.0%、「その他」が20.0%、「60～69歳」では、「1年未満」が8.7%、「1年～2年未満」が10.9%、「2年～3年未満」が21.7%、「3年以上」が43.5%、「その他」が13.0%、「70歳以上」では、「1年未満」が25.0%、「1年～2年未満」が37.5%、「2年～3年未満」が12.5%、「3年以上」が12.5%、「その他」が12.5%となっており、各年代のほとんどが「3年以上の保証」の割合が高い。

1日あたりの来院患者数別でみると、「20人以下」では、「1年未満」が9.4%、「1年～2年未満」が14.1%、「2年～3年未満」が14.1%、「3年以上」が48.4%、「その他」が10.9%、「21～30人」では、「1年未満」が6.6%、「1年～2年未満」が18.0%、「2年～3年未満」が18.0%、「3年以上」が36.1%、「その他」が19.7%、「31人以上」では、「1年未満」が5.8%、「1年～2年未満」が20.3%、「2年～3年未満」が13.0%、「3

年以上」が43.5%、「その他」が17.4%となっており、来院患者数別でもやはり、「3年以上」が高い傾向である。

1日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数でみると、「5件以下」では、「1年未満」が11.2%、「1年～2年未満」が12.1%、「2年～3年未満」が12.1%、「3年以上」が46.7%、「その他」が15.9%、「6～10件」では、「1年未満」が1.6%、「1年～2年未満」が21.9%、「2年～3年未満」が20.3%、「3年以上」が39.1%、「その他」が15.6%、「11件以上」では、「1年未満」が4.3%、「1年～2年未満」が30.4%、「2年～3年未満」が13.0%、「3年以上」が34.8%、「その他」が17.4%となっており、「年代別」や「来院患者数」と同様の傾向（3年以上の保証期間）があるが、「1年未満」や「3年以上」の保証期間が歯科補綴物の委託（外注）件数が増加すると、保証期間が短くなる傾向がうかがえる。

歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合でみると、「50%以下」では、「1年未満」が10.3%、「1年～2年未満」が3.4%、「2年～3年未満」が13.8%、「3年以上」が51.7%、「その他」が13.8%、「51%～99%」では、「1年未満」が4.5%、「1年～2年未満」が27.3%、「2年～3年未満」が12.1%、「3年以上」が43.9%、「その他」が12.1%、「100%」では、「1年未満」が7.2%、「1年～2年未満」が15.5%、「2年～3年未満」が16.5%、「3年以上」が40.2%、「その他」が19.6%となっており、外部委託の件数割合が増加すると、「3年以上」の保証期間の割合が減少する（図28）。